

本島南部及び周辺離島

渡名喜村渡名喜島
重要伝統的建造物群
保存地区 (P92-93)

渡名喜島



旧崇元寺第一門及び石牆 (P52-53)

壺屋の荒焼のぼり窯 (P67)

新垣家住宅 (P56-57)

旧円覚寺放生橋 (P46-47)

旧円覚寺総門 (P71)

園比屋武御獄石門 (P50-51)

旧首里城守礼門 (P70)

玉陵 (P16-17)

那覇空港

岡波岩

豊見城・名嘉地





道路凡例

331 国道

82 岐道主要地方道

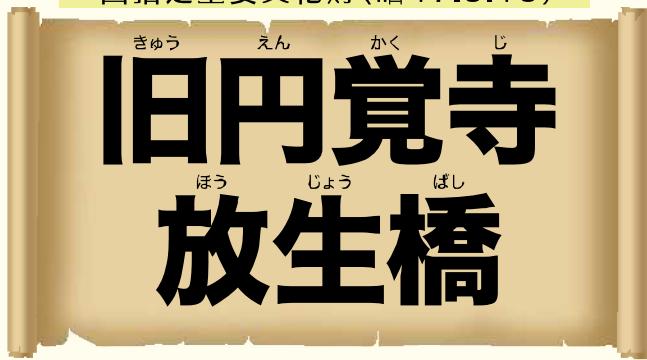
99 岐道一般道

高速道路

市町村境界線

国指定重要文化財(昭47.5.15)

那覇市



戦争で壊れて、博物館に保管されたりと、みんなの努力で元のところに戻ったんだね。

羽目石には雲や鶴、椿の花、牡丹や蓮などが施されているよ。鎌倉若太郎の『沖縄文化の造宝』に戦前の写真が掲載されているよ。見事な彫刻であることが見て取れるよ。



建造物
ジンゾウモノ

15世紀末に作られた精巧な彫刻のある石橋



旧円覚寺総門と放生橋

旧円覚寺の総門と三門の間の放生池に架けられた石橋です。三門側の親柱に「大明弘治戊午歳春正月吉日建立」と刻まれていることから、1498(弘治11)年に造られたことがわかります。4枚の琉球石灰岩を並べて架けたシンプルな造りですが、その両側にある勾欄は中国からもたらされた輝緑岩を用い、親柱の頭

には子連れの獅子、羽目石には精巧な彫刻が施されています。小さな橋ですが、沖縄の石材彫刻美術の最高傑作といわれています。

沖縄戦時に爆風で吹き飛ばされ、勾欄は戦後、博物館で展示されていましたが、1967(昭和42)年、元の場所に移築されました。



勾欄羽目石



親柱



勾樹



獅子(親柱の拡大)



26°13'6.31"N 127°43'9.48"E